

菅原組が特別賞を受賞

国交省の船員安全・労働環境取組大賞

ドローンの活用等に高評価

安全運航や船員の労働災害防止、健康管理、労働支援に関する先進的で優良な取組を表彰するもので、道内業者では初めての受賞。ドローン空撮による航路確認や測量といった労働支援対策が高く評価された。

同社は、作業船にドローンを常備し、初めて施工する現場付近の海域を空撮。施工箇所付近の浅瀬や障害物の確認を行った上で、航行経路を検討し、船舶の安全運航に役立てている。転落の危険性を伴う消波ブロック上での据付後の測定にもドローンを活用。船員労働の省力化とともに作業の安全性向上を図っている。

道内業者で初

【函館発】(株)菅原組(函館、菅原修社長)は、国土交通省海事局による三十二年度船員安全・労働環境取組大賞の特別賞を受賞した。

北海道建設新聞

2018年(平成30年)8月31日(金曜日)

国交省海事局

菅原組を9月5日表彰

船員安全・労働環境取組特別賞、道内初

【函館】国土交通省海事局は30日、菅原組(本社・函館)を船員安全・労働環境取組特別賞に選んだ。道内企業の受賞は初めて。9月5日に同局長室で表彰状授与式が開かれる。

所有者やその関係者の「防災防止」「安全運航」「健康管理」「労働支援」で優れた取り組みを船員災害防止モデル事業検討委員会が審査し、表彰する。2014年度から始まった。

菅原組は、ドローン空撮による先進的な労働支援対策が評価された。施工する現場付近海域を空撮して浅瀬や障害物の確認をし、安全航行に努めた。また、転落の危険性が伴う据え付け後の消波ブロック出来形確認を、ドローンによる3次元測量データで実施。省力化と安全性の向上を図った。